

新しいしい年を迎え、目標・計画は早目に立てよという戒めを現す諺に「**一年の計は 元旦にあり**」という言葉があります。こころ改まり今年1年間の目標や計画は、新年のスタートとともに決める人も多いと思われます。

高齢となると 健康長寿とか 家内安全等々が 多いようですが、社会人ならば 出世慾・名誉慾等、学生ならば 学習や生活の目標を掲げたりします。目標としては、仕事において 望んだ地位に就きたい、今よりもっと綺麗になりたい、趣味や語学をもっと上達させたいなど、何かを目標にしてそれに向かうことは **更なる 上を目指すという点で 素晴らしい**ことです。

しかし 此处で 「あの人より偉くなって出世したい」とか「あの人よりも輝いていたい」のように、誰かとの比較対象が目標のベースになっているのなら、目標達成は難しいかもしれません。

親鸞聖人の『仏説無量寿経』という經典の中に「**無有代者**」(代わる者 有る事無し)という言葉があります。即ち「**私という存在は 他に代わる者はない**」という意味です。誰にも変わることのできない**唯一無二**の存在が、私であるということです。唯一無二の存在であれば、他人と比較する必要はないのですが、「比べるな!」と言われても、つい比べてしまうのが 我達かもしれません。

勝手に競争をしてイライラし、自分の思い通りにならなかった状況にイライラする。自分と他人を比べる必要なんてないのに、比べることで 苦しみを抱えてしまうことがあるかもしれません。「くらべず、あせらず、あきらめず」は、日常生活で「くらべて、あせって、あきらめて」いる私の心を立ち止まらせる言葉でもあります。

「如来の**摂取不捨**(えらばず、きらわず、見すてず)の心を学び、真実 自分自身のしたいこと・しなければならぬこと・できることを、他人とくらべず・あせらず・あきらめず・していこう」ではありませんか。

「いのち」は、私が 私としてのありのままを受けとめて、選ばず、嫌わず、見捨てないという願いを持っています。だから今、**この一瞬一瞬 自分にできることを 精一杯し、自分らしく 生きようという 呼びかけの言葉で**はないかと感じます。私たちは誰のためでもない、自分のために生きるのです。目の前の自分自身のしたいこと、しなければならぬこと、できることを素直にしていく姿勢を大切にしたいものです

新春に 歳をひとつ 押し売られ

令和7年 巳年